

# **2020 年度 事業報告書**

**2021 年 5 月 25 日**

**社会福祉法人もえぎの会**

## 目 次

I. 総括	… P2
II. 共通	
1. 重点課題	… P2
2. 苦情・相談対応	… P4
3. 防災・安全対策	… P5
4. 研修	… P7
5. 地域・関係機関との連携	… P8
III. 施設別	
1. 本部	… P11
2. しいの実社	… P14
3. しいの実社 学芸大学スマイルプラザ	… P19
4. 沙羅の家	… P22
5. 短期入所	… P24
6. 地域生活支援拠点(目黒区委託事業)	… P26

## I. 総括

コロナ禍の1年であった。もえぎの会は、支援を必要とする障害者・家族のために事業を運営するという設立趣旨に則り、できる限り活動を継続する方針で、1日も休むことなく通常の活動をした。そのために、徹底した感染症防止対策を実施した。詳細な情報を収集し、専門家に相談し、それらを基にスタッフ全員で考え、検討し、協力して乗り切っている。日常の活動における対策の実施は、緊張があり、スタッフ・利用者に格段の負荷が掛かるが、一方で過剰な負荷にならない配慮も併せて実施している。この経験は、困難な事や新たな事に取り組む機会に役に立つと確認している。

しいの実社においては、新たな就労移行支援事業の利用者を受け入れ、利用者ゼロの状況を解消した。今後さらに利用者の確保に努める必要がある。

利用者は、高齢化・重度化が進み、家族による支援力の低下と併せて、質量ともに支援の必要性が増加し、スタッフの研修や連携を進めた。喫緊の課題であり、外部との連携を含めて新たな取り組みを強化する必要がある。

グループホーム運営においては沙羅の家 清水が3年経過し、安定運営を目指す年であった。しかし、厳しい運営状況の中で、スタッフの退職があり、安定運営は道半ばとなり、継続して取り組む必要がある。

スタッフ体制を安定化させ、短期入所の稼働率を向上させるために、夜勤体制の実施を開始することができた。さらにスタッフ体制を強化して短期入所の緊急受入れを増加させ、短期入所の稼働率向上を目指すとともに、利用者・家族の高齢化・重度化に対応する必要がある。

## II. 共通

### 1. 重点課題

#### (1) 運営基盤の強化

運営基盤の強化として、収支の改善について数点の取り組みを行った。沙羅の家教養娯楽費を、これまで全額負担としていたものを見直し、年に1回の全ユニットでの合同企画以外は自己負担とし、2021年度から導入を開始する。収支状況を幹部会で定期的に確認し、各施設の運営会議でも説明を行った。幹部職員はより予算意識が高まったものの、職員に対してはより分かりやすい説明が求められる。2020年度は、収支が改善される結果となったが、取り組みを継続し、職員の意識を高める効果的な方法を探りながら働きかけをしていく。

(2) サービス提供における情報共有と情報の精度の向上

チームで対応する事業では記録の管理はスムーズな運営とサービスの質の向上に大きく影響を与える。しいの実社ではスタッフ集団が大きくなり利用者や家族の高齢化に伴い状況の変化が激しく、正確な情報をスタッフ間で十分に共有し、組織的な対応が図りやすくなるよう、複数で管理され、共有の難しさと煩雑さをうんでいた情報を一元化し、更新管理をしていくためのデータ分類と整理を行った。

日々の情報共有ツールとして利用している支援サービスの書式・仕組みの改良を行い、内容の整理と共有しやすくするためのシステムづくりをし、運用し始めた。

(3) 就労移行支援事業の利用者確保

年度初めは利用者0名でのスタートではあったが、8月に1名が利用を開始し、順調に定着しつつある。しかし、依然として欠員の出ている状況のため、継続して関係機関との連携を図る必要があったが、新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、特別支援学校などとの連携を強化するには至らなかった。

(4) 沙羅の家の業務の標準化の強化

沙羅の家清水の開設に伴い、組織の拡大のため、新規採用の職員が増加することで業務のバラつきがみられるようになったので、業務標準化の強化を重点課題として取り組んだが、スタッフの変更等により、具体的な対策が図られなかった。2021年度にも引き続き課題として取り組み、2021年度の重点課題と合わせて取り組んでいく。

(5) 短期入所の緊急受け入れの拡大

年度当初より、会議体を設置し、夜勤勤務を含めてスタッフ体制の見直しについて、検討を行った。業務内容を見直し、勤務時間を調整することで、スタッフの人数は、変えずに、下半期より夜勤勤務を導入することができた。また、夜勤勤務を導入することで、緊急時の受け入れも昨年度に比べ、受け入れの検討に時間を費やすことがなくなった。

## 2. 苦情・相談対応

### (1) 苦情・相談対応 苦情内容

月	施設	苦情内容	対応内容
10月	しいの実社	工賃の基本給が下がっているのに、説明がなかった。	工賃の仕組みをご説明し、加齢による間違いの増加により評価が下がっていたことについては不安も持たれていたが、スタッフが工夫して対応しておりこれから上がる可能性も十分考えられることをお伝えして納得して下さっている。
11月	事務局	歩行者から、車がハザードを出してはいたものの進路を妨害されたと警察に訴えがあった。	事実確認をしたところ急な妨害はしておらず一定の距離を保つての停車であったとのこと。念のため、運転職員に対し注意喚起を行う。
2月	しいの実社	健康診断の日に下着を着替えたことに対する説明が不足しているという訴え。	月曜の朝に、本人がいつもと違う行動があったため、その前の週の健康診断時「下着を着替えた」ということは聞いたがそれ以外の説明がなかったため、本人が苦手な利用者との接触があったのではと疑念をもたれた様子。健康診断自体がいつもと違う流れなので、トイレに行くタイミングを逃してしまったのかもしれない。そのような時にはトイレの声掛けをこまめにするなどを説明している。

### (2) 虐待防止委員会

月日	主な内容	出席人数
9/8	体制確認、目黒区虐待防止取り組みの報告 チェックリスト実施について、虐待疑いの訴えについて	委員 6人
10/15	目黒区虐待防止センター調査報告、虐待疑い事例について	委員 6人
2/10	虐待防止研修の実施について	委員 5人

### 3. 防災・安全対策

#### (1) 事故

施設	転倒・転落	怪我	服薬	誤飲・誤嚥	喧嘩・紛争	器物破損	その他	計
しいの実社	0	3	1	0	0	0	3	7
学大スマイル	0	1	0	0	1	0	0	2
沙羅の家	0	0	5	0	0	0	2	7
短期入所	0	0	0	0	0	0	0	0
支援拠点	0	0	0	0	0	0	0	0
計	0	4	6	0	1	0	5	16

#### (2) ひやりはっと

施設	転倒・転落	怪我	服薬	誤飲・誤嚥	喧嘩・紛争	器物破損	その他	計
しいの実社	0	7	1	0	2	1	9	20
学大スマイル	0	0	0	0	3	0	0	3
沙羅の家	0	0	4	0	0	0	6	10
短期入所	0	0	0	0	0	0	1	1
支援拠点	0	0	0	0	0	0	0	0
計	0	7	5	0	5	1	16	34

#### (3) 【販売に関するもの】

	異物混入	表示	品質	賞味期限	金銭	その他	計
苦情	1	0	0	0	0	0	1
事故	0	0	0	0	0	0	0
ひやり	0	0	0	0	0	0	0

(4) 防災訓練(各施設長)

施設	実施日	内 容
沙羅の家	4/29	災害が発生した際の行動規範知る(動画視聴)
沙羅の家向原	4/29	災害が発生した際の行動規範知る(動画視聴)
沙羅の家大岡山	4/29	災害が発生した際の行動規範知る(動画視聴)
沙羅の家清水 A	4/29	災害が発生した際の行動規範知る(動画視聴)
沙羅の家清水 B	4/29	災害が発生した際の行動規範知る(動画視聴)
沙羅の家清水 C	4/29	災害が発生した際の行動規範知る(動画視聴)
しいの実社	10/29	避難経路・消火器設置場・防火扉・排煙窓の確認
沙羅の家	11/3	災害時における一時的な緊急避難場所を確認し、円滑な避難ができるよう訓練を行った。
沙羅の家向原	11/3	災害時における一時的な緊急避難場所を確認し、円滑な避難ができるよう訓練を行った。
沙羅の家大岡山	11/3	災害時における一時的な緊急避難場所を確認し、円滑な避難ができるよう訓練を行った。
沙羅の家清水 A	11/3	災害時における一時的な緊急避難場所を確認し、円滑な避難ができるよう訓練を行った。
沙羅の家清水 B	11/3	災害時における一時的な緊急避難場所を確認し、円滑な避難ができるよう訓練を行った。
沙羅の家清水 C	11/3	災害時における一時的な緊急避難場所を確認し、円滑な避難ができるよう訓練を行った。
しいの実社	3/31	消火器の使用訓練

(5) 安全・衛生委員会

月日	主な内容	出席人数
3/16	沙羅の家 ひやりはっと・事故報告の検証	15人
3/15	しいの実社 ひやりはっと・事故報告の検証	8人

#### 4. 研修

##### (1) 外部研修

実施日	施設名	研修名	実施主体	参加人数
8/18,19,20 9/25	しいの実社	強度行動障害支援者養成研修 (基礎)	東京都福祉保健財団	1人
	沙羅の家			1人
8/20・21	沙羅の家	てんかん研修	日本てんかん協会	1人
9/15・16・17	学大スマイル	就労支援基礎研修	東京都・高齢・障害・有職者 雇用支援機構	1人
9/10	学大スマイル	食品衛生実務講習会	目黒区保健所生活衛生課	1人
9/25	沙羅の家大岡山	強度行動障害支援者養成研修	東京都	1人
12/11	しいの実社	虐待防止・権利擁護研修	東京都社会福祉協議会	1人
オンライン	しいの実社	認知症の基本的理解とケアの 視点	東京都社会福祉協議会	8人
12/15・16	学大スマイル	サービス管理責任者基礎研修	東京都福祉保健局	1人
12/17・18	しいの実社	サービス管理責任者基礎研修	東京都福祉保健局	1人
12/23	沙羅の家(南)	東京都サービス管理責任者基 礎研修	東京都	1人
1/8	沙羅の家清水	障害者 GH 従事者基礎研修	東京都(障害者GH従事者 人財育成新事業)	3人

##### (2) 内部研修

実施日	施設名	研修名(内容)	対象者	講師
4/1	しいの実社・学大スマイル	倫理・福祉・しいの実社の求める 職員	入職者	しいの実社 施設長
4/28		自閉症とともに、自閉症の人が 求める支援	2～6年目職員	DVD 視聴
4/30		合理的配慮、自閉症の世界へよ うこそ、自閉症スペクトラム	2～6年目職員	DVD 視聴
5/1・8・ 25		働く自閉症のための作業改善の 工夫とアイデア他	6年目～職員	書籍
5/15・ 19・26		自閉症の人が見ている世界	2年目職員	DVD 視聴



7/1		倫理・福祉・しいの実社の求める職員	入職者	DVD 視聴
7/13		倫理・福祉・しいの実社の求める職員	復職スタッフ	DVD 視聴
7/20		新型コロナウイルス感染防止研修	正規スタッフ	動画視聴
12/22		倫理綱領・サービスの歴史	新人スタッフ	しいの実社 施設長
11/24	法人全体	新型コロナウイルス感染症スタッフ研修	全スタッフ	武蔵村山病院 院長 鹿取氏
12/24		知的障害の理解	2年以内スタッフ	DVD 視聴
1/6		障害の理解	2～9年スタッフ	DVD 視聴
1/7		障害の理解・行動障害・虐待防止	10年以上スタッフ	DVD 視聴
1/14		差別解消法・合理的配慮	新人スタッフ	DVD 視聴
2/25		障害の理解	新人スタッフ	DVD 視聴
2/26		強度行動障害(伝達研修)	正規スタッフ	受講スタッフ
3/12	法人全体	虐待防止研修	全スタッフ	(福)同愛会 竹矢亘氏
3/19		虐待防止研修の更なる理解	2～9年スタッフ	しいの実社 施設長
3/25		虐待防止研修の更なる理解	10年以上	しいの実社 施設長
3/31		虐待防止研修の更なる理解	全スタッフ	しいの実社 施設長

## 5. 地域・関係機関との連携(事務局)

### (1) 実習・体験・見学

実施日	受入施設名	実習・見学等依頼先	人数
7/28	しいの実社(見学)	利用希望者	2人
8/13	学大スマイルプラザ(見学)	利用希望者	2人
8/14	学大スマイルプラザ(見学)	就労移行支援事業所ワークイズ職員	1人
10/26	学大スマイルプラザ(見学)	ホシノ天然酵母	2人
10/28・29	しいの実社(見学)	不動小学校(町探検)	12人
11/2	しいの実社(見学)	利用希望	2人

1/13	しいの実社(実習)	進路先探し	1人
1/20	しいの実社(見学)	青鳥特別支援学校1年 親子	2人
1/21	学大スマイルプラザ(実習)	利用希望	2人
1/27	学大スマイルプラザ(見学)	ハート希望	1人

(2) 相談支援事業所利用実績

事業所名	たんぽぽ	あいアイ館	リタリコ	センター 目黒相談支援	エール	いんくる	ふれんず	その他	なし	合計
人数	22	13	9	8	4	1	1	3	1	62

(3) 広報紙「萌木」の発行（事務局）

- ① 対象者 行政、議会、学校、関係機関、利用者、家族、ボランティア、後援会会員等
- ② 発行時期 4月、10月
- ③ 発行部数 750部
- ④ 内容 【4月号】
  - 巻頭文: 前青鳥特別支援学校校長挨拶
  - 2020年度事業計画
  - 第18回しいの実祭報告
  - 子ども食堂とのつながり
  - 後援会会員インタビュー  
KS ハートメディカル、目黒原町会、島崎屋金物店
  - 沙羅の家 向原生活状況報告、祝日イベント
- 【10月号】
  - 巻頭文: 野村理事長挨拶
  - もえぎの会コロナ感染症対策実践の紹介
  - しいの実社感染症対応の考え方・ランチ会実施報告
  - 後援会員インタビュー  
マッターホン、石福、これまさクリニック
  - 沙羅の家 大岡山生活状況報告、事務局より

(4) 通信「しいの実通信」の発行

- (1) 対象者 利用者、家族
- (2) 発行時期 5月、1月
- (3) 発行部数 70部
- (4) 内容 5月
  - 巻頭文:理事長、施設長
  - コロナウイルス感染症予防の取り組み紹介
  - スタッフ紹介(新規採用)
  - 部門別スタッフ紹介
  - 寺沢看護師からの新型コロナウイルスとその予防について1月
  - 巻頭文:理事長・施設長
  - 雅叙園での食事会報告
  - リモートしいの実祭報告
  - 新型コロナウイルス対策更新版
  - 社員さん紹介、スタッフ紹介

(5) 後援会だよりの発行(発行 後援会)

- ① 対象者 後援会員
- ② 発行時期 4月、10月
- ③ 発行部数 600部
- ④ 内容 【4月号】
  - 巻頭:会長挨拶
  - 第18回しいの実祭報告
  - しいの実社宿泊旅行報告
  - 丸紅基金社会福祉助成内容報告【10月号】
  - 巻頭:会長挨拶
  - ウイズコロナのもえぎの会行事報告
  - 2019年度収支決算報告/2020年度収支予算
  - コロナと戦うスタッフに感謝

(6) 事業報告会

開催を中止。  
後援会総会のみ、書面にて行う。

### III. 施設別

#### 1. 本部

諸規定の見直しを適宜行い、事務処理についても各自が業務分掌に基づき自発的に事務を行えるようになった。法人全体を司る総務管理部門としてはまだ十分でないため、次年度に機能の見直しを課題として取り上げ、より法人運営に寄与できる事務局を目指す。

##### (1) スタッフの異動

	本部					しいの実社				
	4/1	退職	異動	採用	現員	4/1	退職	異動	採用	現員
正 規	2	0	0	0	2	13	0	-1	1	13
契 約	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
パ ー ト	6	0	0	0	6	6	1	0	1	6
計	8	0	0	0	8	19	1	-1	2	19

	しいの実社学芸大学スマイルプラザ					沙羅の家				
	4/1	退職	異動	採用	現員	4/1	退職	異動	採用	現員
正 規	4	0	1	0	5	20	4	0	3	19
契 約	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
パ ー ト	8	1	0	2	9	5	1	0	5	9
計	12	1	1	2	14	25	5	0	8	28

	合 計				
	4/1	退職	異動	採用	現員
正 規	39	4	0	4	39
契 約	0	0	0	0	0
パ ー ト	25	3	0	8	30
計	64	7	0	12	69

##### (7) 会議運営

###### ① 理事会

開催日	主な内容	出席人数
5/26	2019年度事業報告、2019年度決算報告、しいの実社学芸大学店にかかる店舗賃貸契約更新、評議員会開催	理事 7人 監事 1人
10/27	2020年度上半期事業実績、2020年度補正予算、規則規程変更、評議員会開催	理事 7人 監事 2人
3/2	2021年度事業計画、2021年度予算、積立金計上、役員候補者の選任、ランチ委託業者選定、規則・規程変更、評議員会開催、評議員候補(案)、評議員選任・解任委員会開催	理事 7人 監事 1人

② 評議員会

開催日	主な内容	出席人数
6/16	2019 年度事業報告、2019 年度決算報告	評議員 6 人 監事 2 人
11/17	2020 年度上半期事業報告、2020 年度補正予算	評議員 7 人 監事 1 人
3/23	2021 年度事業計画、2021 年度予算	評議員 7 人 監事 1 人

③ 後援会(役員会)

開催日	主な内容	出席人数
6/2	活動内容の確認、総会の中止決定、スタッフの活動への感謝状贈呈	役員 3 人 運営委員 7 人
9/4	会員状況確認、広報進捗報告、リモートしいの実祭検討状況	役員 2 人 運営委員 11 人
12/2	リモートしいの実祭報告、会員募集状況等確認	役員 2 人 運営委員 10 人
3/11	もえぎの会 2021 年度計画案、後援会 2021 年度計画案、会員募集状況、広報進捗確認	役員 1 人 運営委員 9 人

④ 後援会(運営委員会)

開催日	主な内容	出席人数
4/7	中止	—
5/12	コロナウイルス感染症対応について、事業報告会中止決定	運営委員 5 人
7/10	事業報告会中止について、しいの実祭について	運営委員 13 人
8/4	会員募集状況、広報進捗、しいの実祭検討	運営委員 9 人
10/6	リモートしいの実祭について	運営委員 10 人
11/10	リモートしいの実祭について	運営委員 10 人
1/5	リモートしいの実祭報告、広報進捗状況	運営委員 7 人
2/2	会員募集状況、広報誌発行計画	運営委員 11 人

⑤ 幹部会

開催月	主な内容
4月	第1回理事会(議案・スケジュール等)、2020年度重点課題の取り組み、コロナウイルス感染症対応について
5月	新型コロナウイルス感染症対応について、理事会準備進捗状況の確認、重点課題の取り組み状況
6月	理事会・評議員会について
7月	もえぎの会および沙羅の家実地検査結果について、予算執行状況、沙羅の家清水における勤務体制の見直しについて
8月	新型コロナウイルス感染症対応状況について、予算執行状況、沙羅の家勤務体制の見直しについて、しいの実祭について
9月	新型コロナウイルス感染症対応状況、予算執行状況、しいの実祭について、各部門報告
10月	理事会議案・資料等について、和田理事より、
11月	評議員会について、緊急包括支援金について、しいの実祭確認、各部門報告
12月	2020年度重点課題進捗状況、予算執行状況、リモートしいの実祭報告
1月	職員面談結果について、2021年度事業計画について、コロナウイルス感染症対応について(拠点・短期入所の受け入れ方針について)
2月	理事会について(事業計画・予算・規則規程変更)、2021年度重点課題について
3月	2020年度重点課題の取組結果について、2021年度報酬改定について

## 2. しいの実社

新型コロナウイルス感染防止対策が先決すべき急務となった1年であった。利用者の意向を確認しながら一日も休まず、開所し続けた。安全に開所を続けるために知恵を出し合いながら徹底した感染対策を行い、新しい日常が生まれ、現在も継続している。また新しい形の外出やしいの実祭を開催するなど困難に対処し新たな力をつけた1年でもあった。

### (1) 利用者状況(障害別・性別・年代別)

種別等	生活介護	就労継続 B	計	
性別	男	18人	9人	27人
	女	6人	2人	8人
	計	24人	11人	35人
年代別	10代	0人	0人	0人
	20代	0人	2人	2人
	30代	8人	3人	11人
	40代	10人	1人	11人
	50代	6人	5人	11人
	60代	0人	0人	0人
	70以上	0人	0人	0人
	計	24人	11人	35人
愛の手帳	2度	13人	2人	15人
	3度	10人	6人	16人
	4度	1人	3人	4人
	計	24人	11人	35人
障害支援区分	未判定	0人	1人	1人
	区分1	0人	0人	0人
	区分2	0人	0人	0人
	区分3	0人	5人	5人
	区分4	14人	2人	16人
	区分5	7人	3人	10人
	区分6	3人	0人	3人
	計	24人	11人	35人

## (2) 利用状況

				2020年度	2019年度	2018年度
生活介護	開所日数	土曜開所	有	248	250	251
			無	242	239	240
	延べ利用人数	土曜開所	有	5837	5741	5703
			無	5749	5543	5552
	平均利用人数/日	土曜開所	有	23.5人/日	23人/日	22.7人/日
			無	23.8人/日	23.2人/日	23.1人/日
	出社率	土曜開所	有	94.1%	114.8%	113.6%
			無	95.0%	116.0%	115.7%
就労継続B	開所日数	土曜開所	有	248	250	251
			無	242	239	240
	延べ利用人数	土曜開所	有	2288	2236	2393
			無	2250	2181	2342
	平均利用人数/日	土曜開所	有	9.2人/日	8.9人/日	9.5人/日
			無	9.3人/日	9.1人/日	9.8人/日
	出社率	土曜開所	有	92.3%	89.4%	95.3%
			無	93.0%	91.3%	97.6%

\* 2020年実績より、出社率の母数を定員から実人員に変更

## (3) 利用者工賃

		給料 (賞与含む)	1人当たり	
			年額	月額
2020年度	生活介護	6,483,650	270,152	22,512
	就労継続B	2,451,980	245,198	20,433
2019年度	生活介護	7,251,670	302,153	25,179
	就労継続B	2,870,520	260,956	25,862
2018年度	生活介護	7,459,650	310,818	25,901
	就労継続B	3,109,740	310,974	25,914

単位：円



## (4) 販売

単位：円

年 度		店 舗			施設外販売		計
		しいの実社	学芸大学	さんまるしえ	イベント	区役所	
2 0 2 0	営業日	241日	241日	297日	2日	13日	794日
	売上額	5,260,200	12,456,480	3,100,920	846,570	456,760	22,120,930
	平均日額	21,827	51,687	10,441	423,285	35,138	27,860
2 0 1 9	営業日	237日	237日	294日	33日	24日	825日
	売上額	4,462,322	13,906,590	3,398,800	2,606,171	1,036,955	25,410,838
	平均日額	18,828	58,677	11,560	78,974	43,206	30,801
2 0 1 8	営業日	236日	236日	306日	36日	23日	839日
	売上額	4,996,976	14,290,620	3,137,860	2,891,453	1,000,020	26,316,931
	平均日額	21,174	60,553	10,254	80,318	43,479	31,367

## (5) 土曜日開所プログラム

実施日	主な内容	参加人数
4/16	中止	
5/2	中止	
6/20	映画鑑賞・昼食会(弁当)	社員 25 人、スタッフ 6 人
7/25	映画鑑賞・昼食会(弁当)	社員 25 人、スタッフ 6 人
8/15	映画鑑賞・昼食会(弁当)	社員 31 人、スタッフ 6 人
9/19	映画鑑賞・昼食会(弁当)	社員 28 人、スタッフ 6 人
10/17	映画鑑賞・昼食会(弁当)	社員 27 人、スタッフ 6 人
12/19	映画鑑賞・昼食会(弁当)	社員 34 人、スタッフ 6 人
1/16	中止	
2/20	中止	
3/20	中止	

(6) 年間行事

• 宿泊研修旅行→雅叙園食事会

実施月日	9月11日(金)・18日(金)・25日(金)
実施場所	雅叙園 例年の宿泊研修旅行の代案として3回に分けて企画・実施。 マイクロバスやハイエースを使用し、密を避け感染症対策を徹底した上で実施した。和洋食のメニューどちらかを選ぶ形式とした。
参加者	社員53人・スタッフ22人

• しいの実祭

実施月日	11月28日(土)
実施内容	カタログ販売を中心に、「ウイズコロナのリモートしいの実祭」と銘打って企画した。例年行っていたしいの実祭については、形を変え利用者は通常の作業を基本に、ランチでお祭りメニューを楽しむなどを盛り込んだ。外の近隣の白川電機様駐車場などで感染対策を徹底しながら製品販売やカタログ注文品の受け渡しなどを行った。カタログと当日の販売を併せた実績は例年を上回るものとなった。
参加者	社員51人・スタッフ43人・ボランティア14人 合計参加者108人

(7) 家族会

	月日	出席人数	主な内容
第1回	4/13	一人	書面による実施
第2回	7/6	31人	(2部制)スタッフ体制・部門等報告・健康診断
第3回	10/5	28人	同上 スタッフ体制・虐待通報に関する報告
第4回	1/25	24人	同上 2021年テーマ・事業経過報告・感染症予防
第5回	3/8	23人	同上 2021事業計画概要等

(8) スタッフ会議

① 運営会議

	主な内容
4/21	理事長より、事務局より、コロナウイルス感染症対応について、
6/23	施設長より、理事長より、感染症予防対応について、部門報告
8/18	予算執行状況、コロナ対策、重点課題について、虐待防止について
10/20	和田理事より、事務局(規程変更、研修報告)、虐待防止、業務課長より
12/15	チームワークについて(白鳥)、補正予算、個別支援計画、家族支援
2/16	スタッフについて、「らくうるカート」、記録について

② チーフ会議

	主な内容
5/19	動画研修 新型コロナウイルス対応
6/1	新型コロナウイルス対応 ランチ・帰宅時その他部門での対応検討
7/21	しいの実祭、第3者評価について
7/29	旅行、しいの実祭について
9/2	雅叙園外出打ち合わせ、
9/15	しいの実祭検討、危機管理、虐待防止について
12/25	利用者の異動希望等について
3/15	安全衛生委員会、資金収支計算書の見方など
3/30	新年度体制、年間予定等について

③ランチ会議

月日	主な内容	出席人数
8/26	嗜好調査、高齢利用者の食事、個別対応食	スタッフ6人、事業者 1人
3/26	嗜好調査結果、利用者の個別対応、事業者より (書面のやりとりで行った)	スタッフ4人、事業者 1人

### 3. しいの実社学芸大学スマイルプラザ

年度初めは利用者 0 名でスタートしたが 8 月に 1 名が新たに利用を開始した。依然として欠員のある状態での運営を行っている。そのため実習の受け入れや特別支援学校との連携強化など利用者獲得につながる活動を予定したが、緊急事態宣言の影響もあり十分に実施できなかった。

#### (1) 利用者状況(障害別・性別・年代別)

種別等		就労継続B	就労移行	計
性別	男	13 人	1 人	14 人
	女	7 人	0 人	7 人
	計	20 人	1 人	21 人
年代別	10 代	0 人	0 人	0 人
	20 代	8 人	0 人	8 人
	30 代	3 人	1 人	4 人
	40 代	3 人	0 人	3 人
	50 代	2 人	0 人	2 人
	60 代	0 人	0 人	0 人
	70 以上	4 人	0 人	4 人
	計	20 人	1 人	21 人
愛の手帳	2 度	6 人	0 人	6 人
	3 度	10 人	0 人	10 人
	4 度	4 人	1 人	5 人
	計	20 人	1 人	21 人
障害支援区分	区分 1	0 人	0 人	0 人
	区分 2	2 人	0 人	2 人
	区分 3	8 人	0 人	8 人
	区分 4	10 人	0 人	10 人
	区分 5	0 人	0 人	0 人
	区分 6	0 人	0 人	0 人
	計	20 人	0 人	20 人

## (2) 利用状況

				2020年度	2019年度	2018年度
就労移行	開所日数	土曜開所	有	249	250	251
			無	241	239	240
	延べ利用人数	土曜開所	有	139	75	827
			無	138	75	819
	平均利用人数／日	土曜開所	有	0.5人／日	0.3人／日	3.3人／日
			無	0.5人／日	0.3人／日	3.4人／日
出社率	土曜開所	有	50%	30%	89.5%	
		無	57%	31%	92.6%	
就労継続B	開所日数	土曜開所	有	249	250	251
			無	241	239	240
	延べ利用人数	土曜開所	有	4770	4563	3950
			無	4734	4482	3875
	平均利用人数／日	土曜開所	有	19.1人／日	18.3人／日	15.7人／日
			無	19.6人／日	18.8人／日	16.1人／日
	出社率	土曜開所	有	95.5%	91.3%	90.9%
			無	98%	93.8%	93.2%

\*2020年実績より、出社率の母数を定員から実人員に変更

## (3) 利用者工賃

	事業名	総支給額 (賞与含む)	1人当たり	
			年額	月額
2020年度	就労移行	87,000	87,000	12,429
	就労継続B	5,174,650	258,733	21,561
2019年度	就労移行	166,310	166,310	13,859
	就労継続B	5,821,420	291,071	24,256
2018年度	就労移行	962,810	240,703	20,059
	就労継続B	5,551,800	308,433	25,703

## (4) 販売

※しいの実社に記載

(5) 土曜日開所プログラム

※しいの実社と同様

(6) 年間行事

① 宿泊研修旅行・② 日帰り研修旅行

※しいの実社と同様、雅叙園外出を実施

(7) 家族会

※しいの実社と同様

(8) スタッフ会議

① 運営会議

※しいの実社と同様

② チーフ会議

※しいの実社と同様

#### 4. 沙羅の家

2020年度は、コロナ感染症予防対策を5つ掲げ一年通して実施した。生活の場であるGHなので、利用者や職員に過度な負荷とならないように、また長期間に及ぶことが想定されたため基本的な対策に徹した。

重点課題の取り組みについては、職員の退職や休職が相次いだこともあり、想定した結果は得られなかった。しかし、人員不足の厳しい運営状況の中で、オンラインでの会議の開催や日用品の買い出しをネット通販に切り替えるなど、業務を見直すよい契機となった。また、しいの実社から、人員不足を補うために協力を貰うことで、これまで以上にしいの実社と沙羅の家との連携が強化される結果となった。

##### (1) 利用者状況

###### ① 性別・年代別

性別			年代別							
男	女	計	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70以上	計
31人	6人	37人	0人	1人	5人	12人	14人	1人	4人	37人

###### ② 障害種別等

愛の手帳				障害支援区分					
2度	3度	4度	計	2	3	4	5	6	計
14人	15人	8人	37人	2人	5人	22人	6人	2人	37人

###### ③ 居住年数

居住年数					
1年未満	1年以上 3年未満	3年以上 5年未満	5年以上 10年未満	10年以上	計
1人	14人	5人	11人	6人	37人

(2) 年間行事(外出プログラム)

実施日	施設	内 容	参加人数
11/3	沙羅の家向原	外食(楽園菜館で中華ランチ)	10人
2/11	沙羅の家向原	外食(とん吉でとんかつランチ)	10人
2/23	全ユニット	祝日合同オンラインイベント (Zoomで各ユニットをつなぎ、取り寄せスイーツの大抽選会を行う)	34人
3/31	沙羅の家向原	外食(バーミヤンでしゃぶしゃぶランチ)	9人
3/31	沙羅の家大岡山	ランチ弁当の買い出し	6人

(3) 家族会

感染症拡大予防のため、書面による報告のみ実施。

(4) 運営会議

	内 容
4月	2020年度事業計画の説明(重点課題、基本方針など)、感染症拡大予防対策
5月	感染症拡大予防対策について、2020年度委員会・係について
6月	コロナ対応による予定変更の確認、職員体制について、 後援会より感謝状を頂いた報告
7月	職員体制(しいの実社より応援)について、オンライン会議の準備
8月	虐待防止について(通報の手順、倫理要綱の確認)、夜勤体制について
9月	下半期のシフトについて、夜勤・宿直手当について
10月	第三者評価について、就業規則、給与規定について、職員体制について
11月	年末年始について、2月の祝日イベントについて
12月	年末年始の確認、職員体制について
1月	緊急事態宣言を受けて改めて感染症拡大予防対策について
2月	祝日合同イベントについて、
3月	安全衛生委員会よりヒヤリハットの検証、来年度の職員体制について



## 5. 短期入所

2020年度は、下半期より夜勤体制を導入し、昨年度の下半期と比べて、利用率は上がっている。特に、男性利用者の希望が増え、利用率は、倍になっている。女性利用者は、定期的に利用する方が多く、安定して運営できている。

週末の受け入れに関しては、2021年度の課題とし、取り組んでいく。

### (1) 利用実績

月	利用の種類	利用人数(人)			利用日数(日)			利用率(%)	
		男	女	計	男	女	計	男	女
4月	体験	2	5	7	4	11	15	13%	37%
	緊急	2	0	2	2	0	2	7%	0%
	計	4	5	9	6	11	17	20%	37%
5月	体験	2	2	4	4	5	9	13%	16%
	緊急	1	0	1	1	0	1	3%	0%
	計	4	2	5	5	5	10	16%	16%
6月	体験	3	6	9	6	14	20	20%	47%
	緊急	1	2	3	2	4	6	7%	13%
	計	4	8	12	8	18	26	27%	60%
7月	体験	3	4	7	6	12	18	19%	39%
	緊急	1	0	1	2	0	2	6%	0%
	計	4	4	8	8	12	20	26%	39%
8月	体験	4	3	7	8	8	16	26%	26%
	緊急	2	2	4	4	8	12	13%	26%
	計	6	5	11	12	16	28	39%	52%
9月	体験	2	6	8	6	12	18	20%	40%
	緊急	1	2	3	2	6	8	7%	20%
	計	3	8	11	8	18	26	27%	60%
10月	体験	3	6	9	6	15	21	19%	48%
	緊急	1	0	1	2	0	2	6%	0%
	計	4	6	10	8	15	23	26%	48%
11月	体験	4	6	10	9	15	24	30%	50%
	緊急	1	0	1	3	0	3	10%	0%
	計	5	6	11	12	15	27	40%	50%

12月	体験	6	4	10	13	12	25	42%	39%
	緊急	1	1	2	3	3	6	10%	10%
	計	7	5	12	16	15	31	52%	48%
1月	体験	7	4	11	16	11	27	52%	35%
	緊急	0	0	0	0	0	0	0%	0%
	計	7	4	11	16	11	27	52%	35%
2月	体験	5	3	8	11	9	20	39%	32%
	緊急	0	1	1	0	2	2	0%	7%
	計	5	4	9	11	11	22	39%	39%
3月	体験	4	6	10	9	16	25	29%	52%
	緊急	1	2	3	2	5	7	6%	16%
	計	5	8	13	11	21	32	35%	68%
計	体験	45	55	100	98	140	238	27%	38%
	緊急	12	10	22	23	28	51	6%	8%
	計	57	65	122	121	168	289	33%	46%

(2) 利用者の障害種別

単位 人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
知的	9	5	12	8	12	10	10	11	12	11	9	13	122
身体			1	1				1				1	4
精神													0
その他													0
合計	9	5	13	9	12	10	10	12	12	11	9	14	126

(3) 緊急利用の理由

レスパイト	10件
冠婚葬祭	1件
介護者の通院・入院等	9件
家族との一時的分離	1件
その他	1件

6. 地域生活支援拠点(目黒区委託事業)

2020年度は、コロナ禍という事もあり、本人の意向を踏まえ、対面での相談を希望する方は、密を回避しながら、相談を受けた。緊急事態宣言中は、対面での相談は、緊急の場合を除き控え、電話で対応した。「見守り・家庭訪問・付き添い」の支援は、コロナ禍のため減少した。相談件数は、全体的には減少したものの、実人数の件数は、一昨年度とほとんど変わっていない。それは、記録方法の簡略化することで、業務効率の改善を図ったことが反映されていると思われる。短期入所の相談件数は、昨年度に比べ倍になっている。これも、下半期より、夜勤体制を導入したことによるものと思われる。

2度の緊急事態宣言を受けて、宣言中は、事業所内での密を避けるために、在宅勤務を実施した。

(1) 相談・支援件数

単位 人

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
相談	実人数	24	28	37	31	32	24	37	31	31	28	16	29	348
	延人数	58	76	81	63	56	35	67	48	65	52	34	59	697
支援	実人数	13	12	15	14	11	16	16	11	13	14	10	13	158
	延人数	44	48	49	38	28	27	31	25	34	29	18	30	401

(2) 相談者の障害種別

種別	身体	知的	精神	児童	その他	重複	不明	合計
人数	5	231	102	0	65	0	1	401

※障害種別は本人・家族のみを対象としている。

※その他には、アルコール依存症の方からの相談が含まれている。

(3) 主な相談内容

	主な内容	件数
1	緊急対応	22
2	短期入所	147
3	体調	89
4	福祉サービス	185
5	日常生活	271
6	金銭管理	39
7	家族関係	40
8	人間関係	16
9	職場施設	73
10	近隣関係	0
11	その他	320
	合計	1202

(4) 主な支援内容

	主な内容	件数
1	緊急対応	3
2	安否確認	2
3	見守り	4
4	家庭訪問	1
5	付き添い	13
6	傾聴助言	384
7	相談継続	40
8	紹介	4
9	その他	417
	合計	881

(5) 研修

実施日	研修名	実施主体	参加数
8/20、21	第 43 回てんかん基礎講座	公益社団法人 日本てんかん協会	1 名
1/14、28	令和 2 年度 東京都精神障害者地域移行促進事業 地域移行関係職員に対する研修	精神障害者地域移行促進事業委託事業者	2 名
2/18	職場の生産性の働きがいをもつ「時間構造理論」を学ぶ	社会福祉法人東京都社会福祉協議会 東京都福祉人材センター研修室	1 名

(6) 見学

なし

